

## ISO 5496 : 2006

### Sensory analysis – Methodology – Initiation and training of assessors in the detection and recognition of odours

## 官能試験－方法－臭いの検出及び認識に関する官能検査員の教育 及び訓練

### 1. 規格の概要

香気を放つ生産物を特定し、それについて記述するため、官能評価者の素質を定め、訓練するための方法を規定している。

この方法は、嗅覚による分析（例えば香料等）を採用している農産食品製造企業の使用に適する。

### 2. 発行状況等

| 年月      | 検討状況     |
|---------|----------|
| 1992年   | 初版発行     |
| 2006年8月 | 第2版発行    |
| 2017年3月 | 改訂（追補）承認 |
| 2018年5月 | 改訂（追補）発行 |

注：改訂版及び／又は追補の発行までの段階

(1) 新業務項目提案 (NP) ※→ (2) 作業原案 (WD) ※→ (3) 委員会原案 (CD) ※  
→ (4) 国際規格案 (DIS) → (5) 最終国際規格案 (FDIS) ※→ 発行

※(1)、(2)、(3)及び(5)は省略可。

### 3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

序文

- 1 適用範囲
- 2 引用規格
- 3 原則
- 4 試薬及び材料
- 5 一般的な試験条件
  - 5.1 試験室
  - 5.2 一般的な試験の規則

6 方法

6.1 直接嗅ぐ方法

6.2 レトロネイザル（口中香：一度喉を通った食物の香りが鼻に戻ってくるこ  
と）による方法

7 回答様式

8 試験結果の解釈

8.1 採用

8.2 教育・訓練

8.3 選抜

附属書 A（規定） 臭気物質の希釈液の準備

附属書 B（参考） 回答様式見本

附属書 C（参考） 口腔内に臭いのある小切片を置くことにより気相中の臭いを評価す  
るレトロネイザル法